

令和 8 年度一般選抜 A 個別方式（第 1 期）出題意図

科目名：英語

- I. 慣用句を文脈の中で出題し，高校卒業レベルの英語力を持っているか，または大学中級程度のより高度な語彙知識を持っているかを問う問題である。
- II. コロケーションも含めた語彙を文脈の中で出題し，高校卒業レベルの英語力を持っているか，または大学中級程度のより高度な語彙知識を持っているかを問う問題である。
- III. 高校卒業レベルの統語力（文構造の理解）を問うており，添えられた日本語の文を正しく表現することが重要となる。設問 12 では受動態、設問 13 では結果構文，設問 14 では “such 名詞句 that ~” の構文を問うている。
- IV. 自然な会話の流れを追う力を問う問題である。正解は文単位の理解ではなく，文脈全体の把握に基づいている。この会話は，ある人物がもう一人の人物に対して，これから下すべき難しい決断について説得しようとするやり取りを中心としており，そのため説明の明確化や意見のすり合わせが含まれている。推論力も求められている。
- V. 長文読解における文脈内の意味理解力を問う問題である。全体的な理解力，推論力，そして局所的な理解力が問われている。今回のテーマはビジネスに関するもので，ある金融問題について批判的な議論を提示する内容となっている。問題は単語や単文からだけでは解けないものとなっている。
- VI. 短めの読解文における文脈内の意味理解力を問う問題である。テキスト内の重要な語彙的手がかり（転換語など）を通して理解する力が求められている。今回のテーマはある意見の理由を提示する内容となっている。
- VII. 文法力を問う問題である。設問 33 では同格接続詞の “that”，設問 34 では存在構文と seem to 不定詞の構造，設問 35 では過去完了形，設問 36 では suggest には動名詞が後続すること，設問 37 では後置形容詞句の用法を問うている。